

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

＜試料・情報の利用目的及び利用方法＞

●研究の名称

延髄外側梗塞の超早期・プレホスピタル段階での神経症候学

●研究の対象

2009年1月1日から2020年3月31日に、京都第二赤十字病院脳神経内科において脳梗塞で入院された患者さんのうち、延髄外側梗塞と診断された患者さんを対象とします。

●研究の目的

延髄外側梗塞は脳梗塞の一種で、延髄に酸素や栄養を送る血管が詰まることで発症します。脳梗塞の診断にはCTやMRIといった画像検査を行います。延髄外側梗塞はMRI画像の陰性率が高く、早期例が見逃されることがあります。そこで、今回当院で治療を行った延髄外側梗塞患者さんを対象に、プレホスピタル（病院に運ばれる前）段階での神経症状と延髄外側梗塞の発症部位の関連について調査することとしました。

●研究の期間

研究機関の長の実施許可日から2026年3月31日まで

●研究の方法

日常診療時に得られる下記の＜利用する試料・情報の項目＞について調査します。

＜利用する試料・情報の項目＞

●試料：なし

●情報：病院到着前の症状、病巣部位、梗塞の発生機序

なお、利用する上記の試料・情報からはお名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報はありません。

＜利用を開始する予定日＞

研究機関の長の実施許可日

＜利用する者の範囲＞

●研究機関名および研究責任者名

京都第二赤十字病院 脳神経内科 永金 義成

≪試料・情報の管理について責任を有する者の名称≫

京都第二赤十字病院 院長

≪試料・情報の利用の停止（受付方法含む）≫

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料・情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の≪問い合わせ先≫にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

≪問い合わせ先≫

研究機関：京都第二赤十字病院

担当者：脳神経内科 永金 義成

住所：〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5

TEL：075-231-5171（代表）